

# 第61期 事業報告書

平成17年4月1日～平成18年3月31日



前田建設工業株式会社

## 目次

株主の皆様へ	1
MAEDAニュース	3
主な受注・完成工事	6
完成工事紹介(土木部門)	7
完成工事紹介(建築部門)	8
業績の推移(単体)	9
単体財務諸表の要旨	10
連結財務諸表の要旨	11
株式の状況	12
会社の概要	13
役員	14



### ファンタジー営業部

平成14年 7月 ファンタジー営業部発足  
平成15年 2月 第1弾「マジンガーZ格納庫編」スタート  
平成15年10月 第2弾「銀河鉄道999発着用高架橋編」スタート  
平成17年 6月 第3弾「グランツーリスモ4編」スタート

<http://www.maeda.co.jp/fantasy/index.html>

詳細は上記ホームページよりご覧ください。

表紙：「神流川発電所新設工事(1期)のうち土木工事(上部ダム工区)」  
(長野県)

※写真は東京電力株式会社よりご提供いただきました。

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成18年3月31日をもって、第61期を終了いたしましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、輸出の増加や在庫調整の一巡などを背景に企業の業績が改善し、設備投資は着実な増加傾向を辿り、雇用環境の好転と所得の増加により個人消費も底堅さを増すなど、景気は総じて回復基調にありました。

建設業界におきましては、公共投資は依然として減少基調にありましたが、民間建設投資は住宅建設投資が堅調に推移するとともに、店舗、事務所などの非住宅建設投資が引き続き増加するなど、建設投資全体では縮小傾向に歯止めがかかりました。

このような情勢のもと、当社は、重点施策であるソリューション機能の強化が実を結び、教育・商業施設の受注が増加し、PFI事業におきましても東大阪市での消防署庁舎整備事業を受注するなど、着実に実績を積み重ねてまいりました。また、コンプライアンス強化の一環として、新たに「MAEDA企業行動憲章」を制定するとともに、平成17年9月には従来の「環境報告書」をCSRへの取り組みを重点的に記載した内容へと改訂し、業界初となる「CSR報告書」として発行いたしました。

受注高につきましては、建築工事が前期比2.6%

増の2,641億円余、土木工事は前期の大型工事受注の反動もあり前期比10.9%減の1,176億円余、受注高合計は前期比2.0%減の3,818億円余となりました。

なお、官民別比率は、官公庁工事25.5%、民間工事74.5%でございます。

売上高（完成工事高）につきましては、建築工事が前期比2.5%減の2,765億円余、土木工事が前期比9.0%増の1,467億円余、売上高合計は前期比1.2%増の4,232億円余となりました。これにより手持工事高（次期繰越高）は前期比6.6%減の5,887億円余となっております。

次に利益につきましては、営業利益は65億円余、経常利益は70億円余となりました。また、当期純利益につきましては、当期に発生した台湾における陥没事故の復旧費用として42億円余を特別損失に計上することなどにより、21億円余となりました。

今後の見通しにつきましては、原油価格の高騰や金利上昇の影響が企業収益の悪化要因となる懸念はあるものの、民間設備投資や個人消費が堅調に推移するものと見込まれ、景気は好調を維持することが予想されます。

建設業界におきましては、公共投資は財政的制約から縮減が続く同業他社との競争激化も予測されますが、民間建設投資は引き続き増加が期待され、受注環境は民間主導で底堅く推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで当社は、「第3次中期経営計画」の諸施策である価格競争力やブランド力

の向上などに努めるとともに、総合評価方式による入札の拡大が受注機会を高める好機と捉え、営業活動への取り組みを一層強化いたします。また、お客さまから「信頼を得る」ことを当社の社会的使命の基本と考え、「技術力」「環境力」「品質力」「財務力」「新規力」それぞれの力を総合し、グループワイドでの収益力向上に全力を尽くしてまいります。これらの活動を通じて、社会や顧客に信頼される企業として、更なる社業の発展に努力を重ねる所存でございます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年6月



代表取締役社長

前田靖治

## CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) 経営の推進

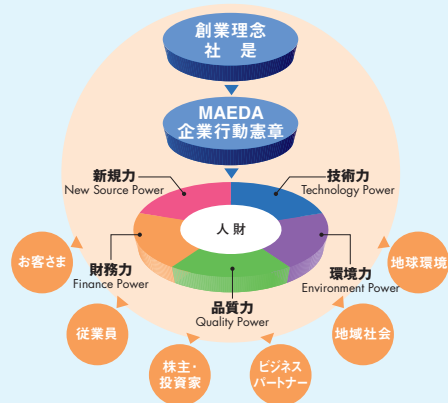
当社のCSRは、誠実さに基づく経営体制のもと、お客さま、株主・投資家、地域社会などのさまざまなステークホルダーと信頼関係を構築するとともに、当社の企業価値を高めることであると考えております。これまでも創業理念「良い仕事をして顧客の信頼を得る」や社是「誠実・意欲・技術」を経営の基本としておりますが、昨年、「真に豊かな社会を創造する」企業であり続けるために、法令遵守や企業統治のしくみ、社会貢献活動や環境活動の取り組みを再構築するなど、CSRの観点から企業経営の強化を図ることといたしました。

まず8月に「MAEDA企業行動憲章」の制定ならびに「MAEDA行動規範」「MAEDA倫理要綱」の改訂を行い、役職員がCSRの観点から創業理念を実現できるように日常業務遂行にあたっての基準を示し、現在その実践に努めております。また、9月に発行した「CSR報告書」では、冒頭のトップコミットメントにおいて4つの誓い、即ち

1. 優れた建造物・建設サービスの提供
2. 環境保全の取り組み
3. 企業市民としての社会・地域貢献活動
4. 法令遵守

を掲げるとともに、その実現にむけた当社の活動状況を明らかにしております。

今後も、社会・顧客から必要とされる企業として、常に社会に意義ある貢献ができるように、社会や暮らしの視点から、時代の変化を的確に捉えたビジネスの再構築を行い、「意欲とこだわりをもつ人財」を核として、「総合力」建設業として全力を尽くしてまいります。



人財を核に、  
5つの力を結集した「総合力」で  
社会に貢献します。



CSR報告書

## 当社関西支店のグリーン調達活動が 「おおさか環境賞 グリーン購入特別奨励賞」および 「環境マネジメント大賞 特別賞・プロジェクト賞」を受賞

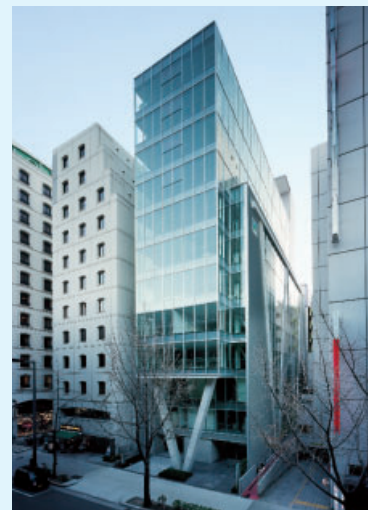
当社関西支店の「MKD10大阪ビル・グリーン調達活動」が、平成17年6月に豊かな環境づくり大阪府民会議から、「おおさか環境賞 グリーン購入特別奨励賞」を受賞しました。また、平成18年2月には月刊アイソス主催のISO14001登録組織表彰において、「環境マネジメント大賞 特別賞・プロジェクト賞」を受賞しました。

「MKD10大阪ビル・グリーン調達活動」は、当社関西支店の新社屋MKD10大阪ビルの建設・移転にあたって、環境負荷を可能な限り削減するために行ってきた環境活動です。環境配慮設計、環境配慮施工ならびに環境に配慮したオフィスの移転と使用の3つの領域で50項目に及ぶグリーン調達を実施し、その成果を「MKD10大阪ビル エコ・レポート」にまとめて、社内外の環境活動の啓発に使用しています。

環境負荷削減の成果を実証、情報公開したこの活動は、当社の環境マネジメントシステムに基づくものであり、省エネタイプの自社社屋を建設し、それをモデルとして



MKD10大阪ビル  
エコ・レポート



プロジェクトの対象となった関西支店社屋MKD10大阪ビル。設計にあたっては未来の都市建築の指標となるよう、機能性・安全性・都市景観への配慮が行われています。

省エネ建造物の普及を図るという点に加え、このプロジェクト自体を環境配慮の教育材料として活用していることなどが評価されました。

## 「(仮称)東大阪市消防局・中消防署庁舎整備事業のうち 施設等整備に係る建設工事」を受注

当社は、PFI事業である「(仮称)東大阪市消防局・中消防署庁舎整備事業のうち施設等整備に係る建設工事」を受注いたしました。

当事業は国内初の消防署におけるPFI事業であり、既存消防署撤去、消防署（施設・情報システム・訓練施設等）の設計・建設ならびに維持管理業務等を行う、事業期間22年のBTO方式の事業です。

### 【工事概要】

所在地：大阪府東大阪市稲葉1丁目

発注者：東大阪消防PFIサービス株式会社

工期：平成18年9月～平成20年3月

延床面積：7,895.96㎡（消防署・訓練施設）

敷地面積：5,000㎡

構造：RC造（基礎免震）

※BTO方式…民間事業者が施設等を建設し、施設完成後に公共施設等の管理者等に所有権を移転し、民間事業者が維持管理および運営を行う事業方式。



完成予想図

## S.Q.C(自己充てん型高強度高耐久コンクリート)を使用して初めて鉄道高架橋を施工



施工中の写真

### 【工事概要】

所在地：富山県黒部市若栗地内  
発注者：独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構  
鉄道建設本部 北陸新幹線第二建設局  
工期：平成14年3月～平成19年3月

S.Q.Cとは、水セメント比が40%以下で設計基準強度が50N/mm以上、良好な自己充てん性を持ち自己収縮が小さいコンクリートのことで、このコンクリートの使用により耐震性能が大きく高品質でかつ長寿命の構造物が建設できます。

現在建設中の北陸新幹線新黒部保守基地通路線高架橋にこのS.Q.Cを提案し採用されました。元設計で800mmの柱断面および梁幅をS.Q.Cの採用により650mmへ縮小し、施工では鉄筋量が多い柱・梁部のコンクリートを締め固めせずに打設して高品質な高架橋を建設しています。

当社は良質な社会資本の整備に寄与する目的でS.Q.C構造物開発・普及協会に参画し、長年にわたりS.Q.C構造物の普及に尽力してまいりました。道路構造物では当社施工の第二名神高速道路栗東橋（下部工）で採用実績がありますが、今回初めて鉄道構造物に採用されたことで普及に弾みをつけ、良質な社会資本整備を一層推進していきたいと考えています。

## 「バットレス制振フレーム」構法 ～住みながらの施工が可能な耐震補強構法～

当社は、施工中の群馬県高層県営住宅において、既存の建物の両側面に「バットレス制振フレーム」を設ける構法を採用しています。

「バットレス制振フレーム」とは、建物の揺れのエネルギーを吸収するオイルダンパーを組みこんだ補強フレームです。当フレームが既存建物と一体化し、フレーム各層間に設置されたオイルダンパーが既存建物の揺れを低減する制震効果を発揮することによって、震度6強から7の地震に対し、新耐震設計法以前に設計された既存建物の倒壊または崩壊を防ぎます。また、当フレームを建物の両側面のみに設置する構法により、居住者の日常生活に支障がなく、居住しながらの工事を可能とするだけでなく、設置後も居室への採光や居住性に全く影響されない住まいの環境を実現します。



完成予想図

### 【工事概要】

平成17年度 東金井県営住宅（77-A棟）耐震補強外壁改修等工事  
所在地：群馬県高崎市飯塚町  
発注者：群馬県  
工期：平成17年12月～平成18年6月  
延床面積：5,719.66㎡  
建築面積：768.94㎡  
構造：SRC、RC造 地上10階  
建築年度：昭和53年（1978年）3月竣工

\*同時に施工中の鼻高県営住宅（79-F棟）、城山県営住宅（80-A棟）、北久保県営住宅（77-A棟）、北久保県営住宅（78-A棟）の工事概要につきましては省略しました。

# 主な受注・完成工事

## ●受注工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	アバ建設(株)	アバ仙台プロジェクト新築工事	宮城県
	ヴェロックス赤坂通り特定目的会社	ヴェロックス赤坂通り開発	東京都
	(学)都築第一学園	横浜薬科大学(仮称)新設工事	神奈川県
	ユニー(株)	アピタ安城南店新築工事	愛知県
	東大阪消防PFIサービス(株)	(仮称)東大阪市消防局・中消防署庁舎整備事業のうち施設等整備に係る建設工事	大阪府
土木	東日本旅客鉄道(株)	東北本線与野・さいたま新都心間赤岩Bo改築工事	埼玉県
	珠洲風力開発(株)	珠洲風力発電所施設建設工事	石川県
	日本道路公団中部支社(現 中日本高速道路(株))	東名阪自動車道相原工事	愛知県
	パークタウン泉開発(株)	パークタウン泉宅地造成他工事	長崎県
	セイロン電力庁	アッパーコトマレ水力発電準備工事(LOT-1)	スリランカ

## ●完成工事

	発注者(敬称略)	工事名	工事場所
建築	(株)タナカエンタープライズ	ティアラタワー中島倶楽部新築工事	北海道
	ユーエフジェイ信託銀行(株) (有)有明レジデンシャルタワーズ (株)プロバスト 正友地所(株)	(仮称)有明1丁目マンションII新築工事	東京都
	町屋駅前南地区市街地再開発組合	町屋駅前南地区第一種市街地再開発ビル(仮称)新築工事等	東京都
	(株)大京	ライオンズタワー月島新築工事	東京都
	ヤマト運輸(株)	ヤマト運輸株式会社(仮称)西大阪主管支店(ベース)建替工事	兵庫県
土木	関東地方整備局	日比谷共同溝工事	東京都
	東日本旅客鉄道(株)	信発山本調整池堤体他災害応急(中越地震)	新潟県
	東京電力(株)	神流川発電所新設工事(1期)のうち土木工事(上部ダム工区)	長野県
	近畿地方整備局	大阪北道路門真南地区改良工事	大阪府
	九州地方整備局	福岡202号外環状共同溝第2工区Bシールド工事	福岡県

## ●当期の受注高・完成工事高および次期繰越高

(単位:百万円)

区分	前期繰越高	当期受注高	計	当期完成工事高	次期繰越高
建築工事	269,584	264,197	533,782	276,504	257,277
土木工事	360,596	117,610	478,207	146,743	331,463
計	630,181	381,808	1,011,990	423,248	588,741

## 完成工事紹介（土木部門）



### 神流川発電所新設工事（1期）のうち土木工事（上部ダム工区）

当ダムは、東京電力株式会社発注の揚水式発電所の上部ダムです。施工にあたっては環境保全に最大限配慮し、堤体材料を湛水池内から採取することで、周辺の環境の変化を最小限にとどめました。湛水池周辺には親水公園等の憩いの場が設けられており、水と親しむやすらぎの空間を作り出しています。



### 日比谷共同溝工事

当工事は、国道1号（桜田通り）の地下約40mに、虎ノ門交差点から桜田門交差点を通過し、日比谷交差点までの1,424mをシールド工法で施工したトンネルです。トンネルの内径は6.7mで共同溝としては国内最大級の大きさです。地中に構築された共同溝は地震に強く、収納された電気、通信、下水道および水道のライフラインを災害から守ります。



### 福岡202号外環状共同溝第2工区Bシールド工事

当工事は、国土交通省が福岡市南部において整備を進めている福岡外環状道路の地下に、トンネル内径5.1m、延長1,097mを泥水加圧式シールド工法にて、共同溝を築造する工事です。完成後は、道路の保全およびライフラインの信頼性確保を目的として、水道・電力・電話の公益施設が一体的に収納されます。

※泥水加圧式シールド工法…トンネルの先端に「シールドマシン」を設けて、泥水により崩壊しようとする土を押しえつつ掘削を行い、マシン内部で分割した円筒状の製品（コンクリート）を組み立てていく工法。



### 信発山本調整池堤体他災害応急（中越地震）

当工事は、東日本旅客鉄道株式会社発注の「山本調整池」復旧工事です。

山本調整池は、首都圏各線および上越線の一部の電力を供給する重要なダムですが、平成16年10月に発生した新潟県中越地震によりダム機能が損なわれ、発電を中止しました。当社は、余震が続くなかの工事を1年未満で完成させ、無事に発電を再開できたことが評価され、発注者より感謝状を授与されました。



## 完成工事紹介（建築部門）



### 町屋駅前南地区第一種市街地再開発ビル （仮称）新築工事等

当建物は、都電が走る町屋にそびえ建つ、地上28階建ての店舗、マンションならびにクリニックモールを併設した複合ビルで、街の新しいランドマークとなっています。斬新な楕円形の外観の建物には超高層中間免震構造を採用するとともに、国内で初めて建物の出入口を東京メトロ駅構内と直接接続させています。また、環境にやさしい屋上緑化・太陽光発電設備の設置など、最新の建設技術を随所に採り入れています。

### ティアラタワー中島倶楽部新築工事

当社の設計施工による当建物は、札幌市中心部の水と緑の豊かな中島公園に近接し、北海道内最大の規模を誇る地上33階建て、総住戸数400戸の賃貸マンションです。外観の丸みが建物全体に柔らかいイメージを持たせるとともに、白を基調とした外装とマリオン（化粧壁）のアクセントが建物を街並みに調和させています。また、エントランスロビーや共用部には、美術品やステンドグラスを配置するなど、美術館を思わせるような高いグレードを有した建物です。



### 株式会社福岡クリーンエナジー新東部工場建設工事

当工場は、株式会社福岡クリーンエナジーのゴミ処理施設となるもので、当社は川崎重工業株式会社より、土木ならびに建築工事を請け負い、福岡市東区に建設いたしました。施設規模としましては、1日に900t（300t/24h×3炉）のごみを処理するとともに29,000kw以上の発電が可能な施設です。



### 横浜築科大学（仮称）新設工事

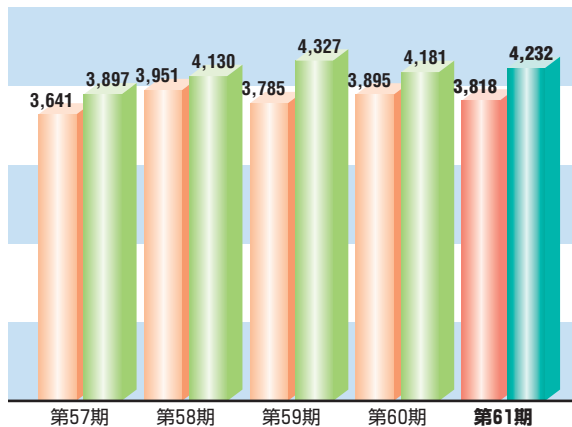
当工事は、横浜市戸塚区の旧ドリームランド跡地に、大学の講義棟・研究実習棟などあわせて5棟の新設と改修工事を約8ヵ月で行いました。21階建ての旧ホテル棟を図書館・研究室へ、旧ボーリング場を食堂および厚生棟へ、それぞれ改修しました。工期の短い工事でありましたが、完成後は緑豊かな環境の中に、快適な教育空間を生み出しています。

# 業績の推移（単体）

## ●受注高・完成工事高

（単位：億円）

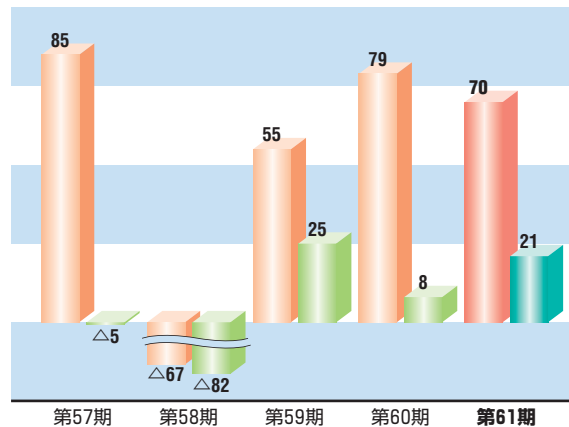
■ 受注高 ■ 完成工事高



## ●経常利益・当期純利益

（単位：億円）

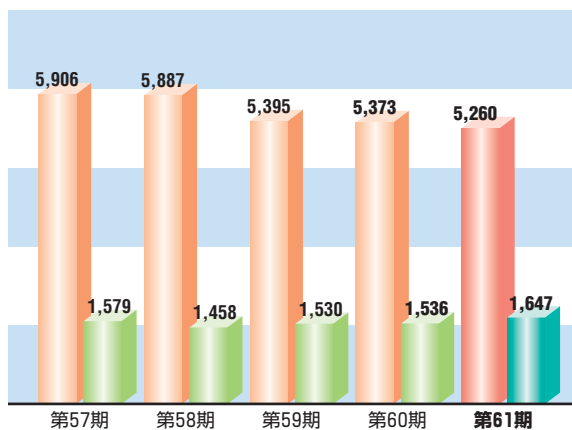
■ 経常利益 ■ 当期純利益



## ●総資産・純資産

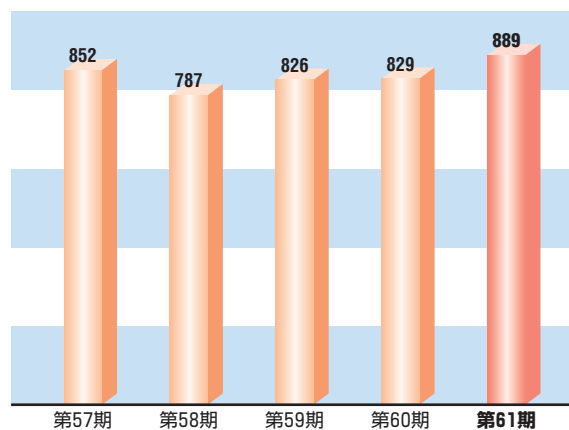
（単位：億円）

■ 総資産 ■ 純資産



## ●1株当たり純資産

（単位：円）



# 単体財務諸表の要旨

## ●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
<b>資産の部</b>		
流動資産	357,593	387,676
現金預金	25,853	51,504
受取手形	24,850	19,250
完成工事未収入金	95,712	77,233
未成工事支出金	158,280	193,941
その他	52,895	45,746
固定資産	168,467	149,707
有形固定資産	57,626	58,414
建物・構築物	21,312	22,538
機械・運搬具	3,582	3,804
工具・器具備品	904	968
土地	31,761	30,953
建設仮勘定	64	149
無形固定資産	5,323	5,271
投資その他の資産	105,517	86,022
投資有価証券	93,305	70,597
その他	12,211	15,424
<b>資産合計</b>	<b>526,060</b>	<b>537,383</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	287,766	306,082
工事未払金	66,003	68,253
短期借入金	28,549	28,322
一年以内償還の社債	16,000	—
未払金	3,369	3,768
未成工事受入金	132,587	176,374
その他	41,256	29,363
固定負債	73,511	77,680
社債	33,000	49,000
長期借入金	10,000	1,000
退職給付引当金	24,872	24,570
その他	5,638	3,110
<b>負債合計</b>	<b>361,277</b>	<b>383,763</b>
<b>資本の部</b>		
資本金	23,454	23,454
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	82,598	82,208
<sub>1</sub> 其他有価証券評価差額金	27,184	16,403
<sub>2</sub> 自己株式	△34	△26
<b>資本合計</b>	<b>164,782</b>	<b>153,620</b>
<b>負債・資本合計</b>	<b>526,060</b>	<b>537,383</b>

(注)有形固定資産の減価償却累計額

525億円

516億円

## ●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
完成工事高	423,248	418,193
完成工事原価	393,628	388,694
販売費及び一般管理費	23,047	21,916
営業利益	6,572	7,581
営業外収益	2,685	2,424
営業外費用	2,231	2,014
経常利益	7,026	7,992
特別利益	3,222	5,365
特別損失	6,193	7,857
税引前当期純利益	4,055	5,500
法人税、住民税及び事業税	4,178	2,155
法人税等調整額	△2,223	2,469
当期純利益	2,101	876
前期繰越利益	1,244	2,079
当期未処分利益	3,346	2,955

(注) 1. 1株当たりの当期純利益

11円11銭

4円49銭

2. 特別損失の主なもの海外工事復旧費用4,245百万円です。

## ●利益処分

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
当期未処分利益	3,346	2,955
<b>計</b>	<b>3,346</b>	<b>2,955</b>
利益処分額		
株主配当金(1株につき9円)	1,666	1,666
取締役賞与金	45	45
任意積立金		
別途積立金	500	—
<b>計</b>	<b>2,211</b>	<b>1,711</b>
次期繰越利益	1,134	1,244

# 連結財務諸表の要旨

## ●貸借対照表

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>375,167</b>	<b>412,618</b>
現金預金	28,790	59,789
受取手形・完成工事未収入金等	131,535	108,576
未成工事支出金	159,601	196,346
その他	55,240	47,905
<b>固定資産</b>	<b>202,615</b>	<b>180,535</b>
有形固定資産	72,782	73,937
建物・構築物	33,439	35,213
機械・運搬具・工具・器具備品	6,882	7,007
土地	32,343	31,551
建設仮勘定	117	164
無形固定資産	5,424	5,392
投資その他の資産	124,407	101,205
投資有価証券	109,242	82,760
その他	15,164	18,445
<b>資産合計</b>	<b>577,782</b>	<b>593,154</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>307,039</b>	<b>335,423</b>
工事未払金等	73,541	77,754
短期借入金	43,726	48,983
一年以内償還の社債	15,500	—
未成工事受入金	133,631	177,074
その他	40,640	31,610
<b>固定負債</b>	<b>81,596</b>	<b>84,160</b>
社債	33,000	48,500
長期借入金	13,866	4,181
退職給付引当金	27,750	27,404
その他	6,979	4,074
<b>負債合計</b>	<b>388,636</b>	<b>419,583</b>
<b>少数株主持分</b>		
少数株主持分	4,047	3,021
<b>少数株主持分合計</b>	<b>4,047</b>	<b>3,021</b>
<b>資本の部</b>		
<b>資本金</b>	<b>23,454</b>	<b>23,454</b>
資本剰余金	31,665	31,579
利益剰余金	106,470	103,529
その他有価証券評価差額金	28,280	16,797
為替換算調整勘定	△46	△53
自己株式	△4,725	△4,759
<b>資本合計</b>	<b>185,099</b>	<b>170,548</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>577,782</b>	<b>593,154</b>

## ●損益計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
<b>売上高</b>	<b>471,945</b>	<b>463,774</b>
売上原価	434,809	425,804
販売費及び一般管理費	29,260	28,672
<b>営業利益</b>	<b>7,875</b>	<b>9,297</b>
営業外収益	3,832	2,184
営業外費用	2,462	2,277
<b>経常利益</b>	<b>9,244</b>	<b>9,203</b>
特別利益	4,117	5,581
特別損失	6,311	9,361
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,051</b>	<b>5,423</b>
法人税、住民税及び事業税	4,609	2,701
法人税等調整額	△2,524	1,835
<b>少数株主利益</b>	<b>419</b>	<b>△307</b>
<b>当期純利益</b>	<b>4,546</b>	<b>1,193</b>

(注) 1. 1株当たりの当期純利益 26円40銭 6円57銭  
2. 特別損失の主なものとは海外工事復旧費用4,245百万円です。

## ●キャッシュ・フロー計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,170	31,043
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,278	△6,392
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,617	2,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	136	△35
現金及び現金同等物の増加・減少(△)額	△31,694	27,301
現金及び現金同等物の期首残高	59,515	32,213
現金及び現金同等物の期末残高	27,821	59,515

## ●剰余金計算書

科目	(単位：百万円)	
	当期	前期
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	31,579	31,579
資本剰余金増加高	86	—
資本剰余金期末残高	31,665	31,579
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	103,529	104,196
利益剰余金増加高	4,546	1,193
利益剰余金減少高	1,606	1,860
利益剰余金期末残高	106,470	103,529

# 株式の状況 (平成18年3月31日現在)

● **会社が発行する株式の総数** 635,500,000株

● **発行済株式総数** 185,213,602株

● **1単元の株式の数** 1,000株

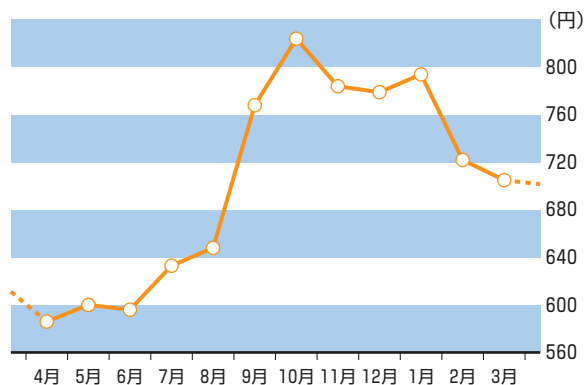
● **株主数** 9,645名

## ●大株主リスト

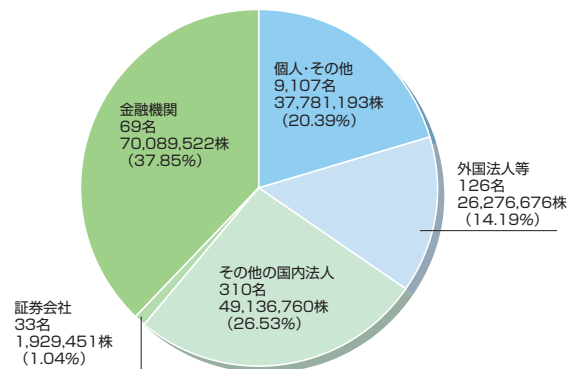
株主名	持株数	出資比率
光が丘興産株式会社	24,311千株	13.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,540	8.93
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	11,283	6.09
前田道路株式会社	7,900	4.27
前田建設工業社員持株会	5,869	3.17
株式会社みずほコーポレート銀行	5,100	2.75
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505019	4,474	2.42
株式会社三井住友銀行	4,150	2.24
株式会社損害保険ジャパン	3,410	1.84
明治安田生命保険相互会社	3,000	1.62

## ●株価(終値)の推移

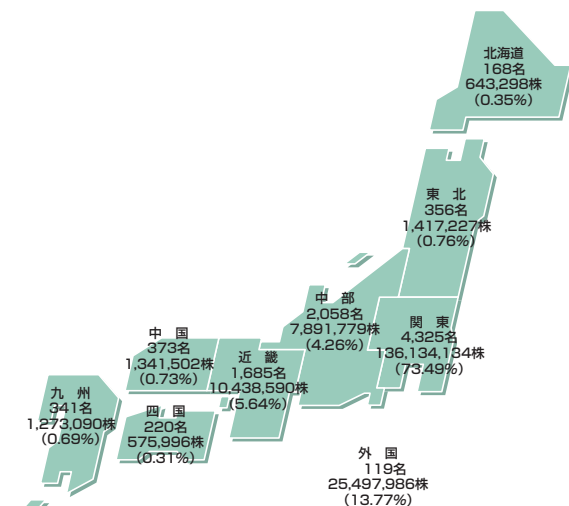
(平成17年4月1日～平成18年3月31日)



## ●所有者別分布状況



## ●地域別分布状況



(注) 株証券保管振替機構名義の株式10,000株は所有者別分布状況では「個人・その他」に、地域別分布状況では「関東」にそれぞれ含まれております。

# 会社の概要 (平成18年3月31日現在)

## ●創業

大正8(1919)年1月8日

## ●設立

昭和21(1946)年11月6日

## ●事業目的

1. 土木建築工事その他建設工事全般の請負、企画、測量、設計、施工、監理及びコンサルティング
2. 建設及び運搬用機械器具各種鋼材製品の設計、製造、修理、販売並びにこれに関連する工事の請負
3. 不動産の売買、賃貸、仲介、管理及び鑑定  
その他

## ●資本金

23,454,968,254円

## ●従業員

3,434名

(注)平成18年3月31日付退職者を除いております。

## ●ホームページアドレス

<http://www.maeda.co.jp/>

## ●事業所

- 本 店** 東京都千代田区富士見2の10の26  
〒102-8151 ☎ (03) 3265-5551
- 光が丘本社** 東京都練馬区高松5の8 J.CITY  
〒179-8903
- 北海道支店** 札幌市中央区南11条西11の2の1  
〒064-8552 ☎ (011) 551-6141
- 東北支店** 仙台市青葉区二日町4の11  
〒980-0802 ☎ (022) 225-8862
- 関東支店** 東京都千代田区九段北4の3の1 (一口坂中央ビル)  
〒102-8215 ☎ (03) 3222-0820
- 東関東支店** 千葉市中央区中央3の3の1 (フジモト第一生命ビル)  
〒260-0013 ☎ (043) 227-3031
- 北関東支店** さいたま市大宮区大門町3の169の2 (セコム損保大宮ビル)  
〒330-0846 ☎ (048) 649-1601
- 長野支店** 長野市篠ノ井御幣川1095  
〒388-8006 ☎ (026) 292-0671
- 横浜支店** 横浜市神奈川区反町2の16の8  
〒221-0825 ☎ (045) 313-7000
- 北陸支店** 富山市牛島町18の7 (アーバンプレイス)  
〒930-0858 ☎ (076) 431-7531
- 福井支店** 福井市手寄1の16の14  
〒910-0858 ☎ (0776) 24-2401
- 中部支店** 名古屋市中区栄5の25の25  
〒460-0008 ☎ (052) 251-6251
- 関西支店** 大阪市中央区久太郎町2の5の30  
〒541-8529 ☎ (06) 6243-2411
- 神戸支店** 神戸市中央区三宮町1の3の1 (神戸Fビルディング)  
〒650-0021 ☎ (078) 321-3248
- 四国支店** 高松市寿町1の1の12 (東京生命館)  
〒760-0023 ☎ (087) 851-6341
- 中国支店** 広島市中区鶴見町2の19 (ルーテル平和大通りビル)  
〒730-0045 ☎ (082) 246-9181
- 九州支店** 福岡市博多区博多駅東2の14の1 (スフィクスセンター)  
〒812-0013 ☎ (092) 451-1541
- 香港支店** Room 1601-1605, New East Ocean Centre,  
9 Science Museum Road, T. S. T East, Kowloon, Hong Kong
- 技術研究所** 東京都練馬区旭町1の39の16  
〒179-8914 ☎ (03) 3977-2241
- 営業所** 全国40ヵ所
- 海外事業所** グァム出張所 (米国)  
バンコック出張所 (タイ)  
プノンペン出張所 (カンボジア)  
台湾出張所 (台湾)  
スリランカ出張所 (スリランカ)  
ロサンゼルス駐在員事務所 (米国)  
ジャカルタ駐在員事務所 (インドネシア)  
北京駐在員事務所 (中国)  
上海駐在員事務所 (中国)  
ハノイ駐在員事務所 (ベトナム)  
ホーチミン駐在員事務所 (ベトナム)  
ヤンゴン駐在員事務所 (ミャンマー)  
デリー駐在員事務所 (インド)

# 役員 (平成18年6月29日現在)

取締役名誉会長	前田 又兵衛
取締役会長	上田 恵一郎
代表取締役社長 執行役員社長	前田 靖治
代表取締役 執行役員副社長	廣田 正
代表取締役 執行役員副社長	川嶋 信義
取締役 専務執行役員	友部 雄策
取締役 専務執行役員	工藤 和男
取締役 専務執行役員	前田 操治
取締役 専務執行役員	江尻 正義
取締役 常務執行役員	西川 博隆
取締役 常務執行役員	福田 幸二郎
取締役 常務執行役員	長谷 康生
取締役 常務執行役員	永尾 眞
常勤監査役	皆合 達夫
常勤監査役	加藤 敏夫
監査役	城内 康光
監査役	桑田 勝利
監査役	松本 善一

常務執行役員	大和 稔
常務執行役員	富岡 康直
常務執行役員	藤森 泰明
常務執行役員	中島 治郎
常務執行役員	山田 和男
常務執行役員	大木 俊英
常務執行役員	横沢 和夫
常務執行役員	田口 神酒雄
常務執行役員	横田 浩
常務執行役員	赤島 正晃
執行役員	井上 隆三郎
執行役員	高橋 勉
執行役員	市川 泰彦
執行役員	竹内 利征
執行役員	小原 稔生
執行役員	加藤 正明
執行役員	橋本 茂男
執行役員	浅野 雅行
執行役員	小原 好一
執行役員	杉本 嘉伸
執行役員	佐賀 勇

(注) 常勤監査役皆合達夫、監査役城内康光、監査役桑田勝利および監査役松本善一の4氏は、社外監査役であります。



# 前田建設工業株式会社 Maeda Corporation

## ●株主メモ

1. 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
2. 定時株主総会 6月中
3. 上記基準日 3月31日  
なお、あらかじめ公告して、基準日を定めることがあります。
4. 剰余金の配当 毎年3月31日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対してお支払いします。
5. 単元株式数 1,000株
6. 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
〒103-8670  
東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
同 取 次 所 みずほ信託銀行株式会社 全国各支店  
みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店  
郵便物送付及び 電話お問合せ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒135-8722  
東京都江東区佐賀一丁目17番7号  
☎ 0120-288-324 (フリーダイヤル)  
7. 手 数 料 名義書換 無 料  
株券再発行 1枚につき262円(消費税含む)
8. 公 告 方 法 当社のホームページ (<http://www.maeda.co.jp/>) に掲載します。  
但し、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。



ホームページアドレス  
<http://www.maeda.co.jp/>



この事業報告書は、  
環境に優しい大豆油  
インキを使用して印  
刷しています。



古紙/ハルパ配合率100%再生紙を使用